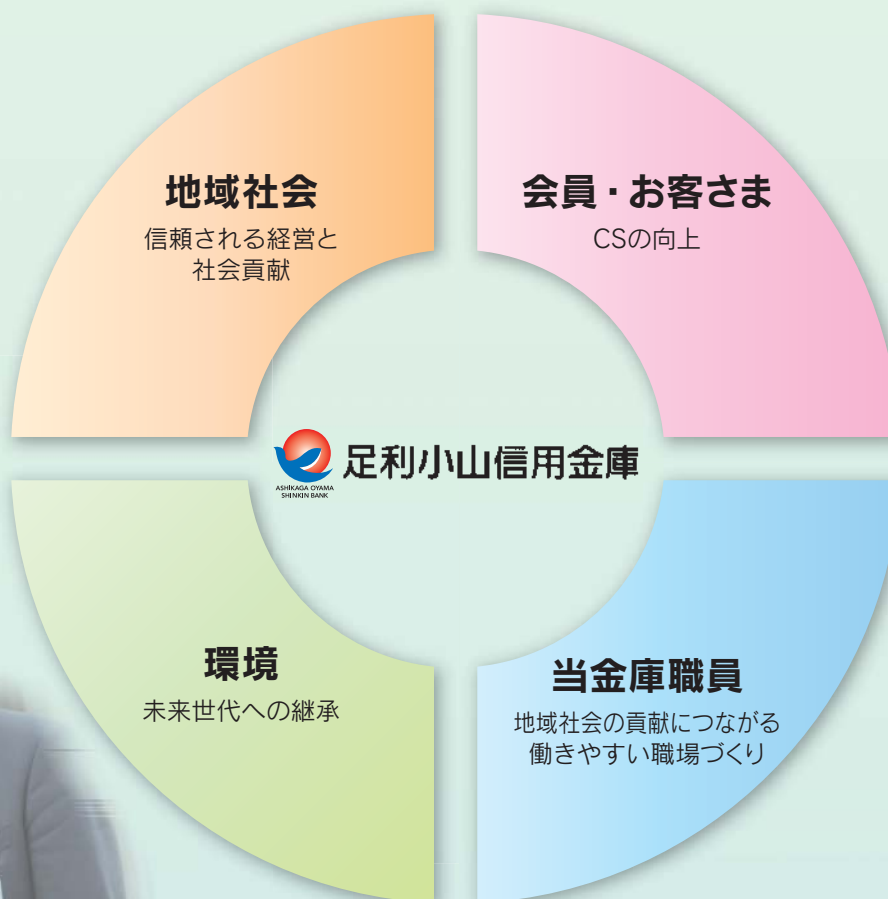


足利小山信用金庫のCSR

足利小山信用金庫の経営の基本理念は「中小企業の健全な発展、地域住民の生活向上および地域社会の繁栄に貢献する」ことにあります。この理念には、地域の会員・お客さま・当金庫の職員等のステークホルダー（利害関係者）と共存共栄を図り、持続可能な社会の実現に貢献するという決意が込められています。

この理念と新中期経営計画に定めている「三方よしの経営」に基づく地域金融機関としての活動と、経営の重要課題であるコンプライアンス（法令等遵守）とコーポレートガバナンス（企業統治）を加え、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）として、金庫を挙げて取り組んでいます。

足利小山信用金庫のステークホルダー



地域社会

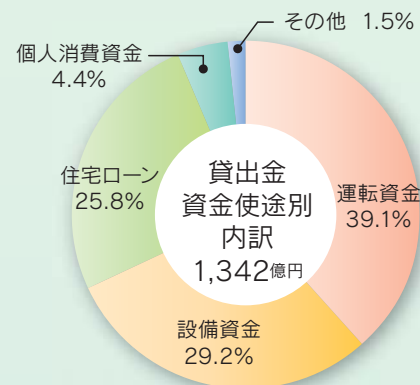
地域社会に果たす役割

足利小山信用金庫は、地域の皆さまが当金庫の会員となり、相互に助け合い発展していくことを共通理念として運営されている金融機関です。

皆さまからお預かりしている預金積金を地域の皆さまへ事業資金・生活資金として提供することにより、地域社会の成長をサポートしています。この金融機関本来の業務にとどまらず、当金庫は、厳しい経営環境の中で挑戦し続ける中小企業・個人事業所の皆さまに対して、経営改善・経営支援・新事業支援などの活動を積極的に推進しています。また、地域全体の活性化のための「まちづくり」活動にも参画し、地域経済の持続的な発展に貢献しています。

●お客さまからの預金積金

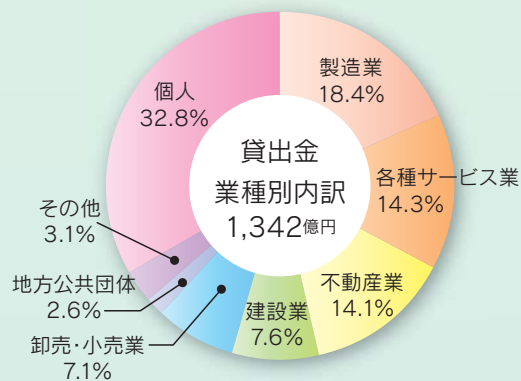
足利小山信用金庫は、お預かりした資金は地域の皆さまの事業・暮らしにお役立ていただくことで、地域経済の活性化を支援しています。また、「計画的な資産づくりのお手伝い」をメインテーマに、各種預金商品とともに、投資信託・国債・保険等の商品をラインアップし、皆さまの資産運用をサポートしています。



●お客さまへのご融資

足利小山信用金庫は、地域の中小企業の健全な発展、地域住民の生活向上および地域社会の繁栄に貢献することを基本方針として、特定のお客さまや特定の業種に偏ることのない、バランスのとれた融資を行っています。

平成20年度は、不動産担保・個人保証に過度に依存しない取り組みとして、栃木県内信用金庫の統一の新商品「しんきんスクラム2000」の取り扱いを開始しました。



●融資以外の運用

皆さまからお預かりした預金積金は、地域の皆さまへのご融資のほかに、信金中央金庫への預け金や有価証券による運用を行っています。

有価証券運用は、安全性と流動性を念頭に置き、各種リスクに配慮したうえで、安定的な収益を確保するため、債券を中心とした運用を行っています。なお、株式での運用は有価証券全体の0.3%程度に過ぎません。また、一昨年から大きな問題となっているサブプライムローンに関するファンドは購入していません。

●保険商品の充実

従来の火災保険と年金保険に加えて、がん保険と医療保険の窓口販売を平成20年6月2日から開始しました。県内の信用金庫では初の取り扱いとなり、全店舗で展開しています。



地域社会への貢献活動

足利小山信用金庫は身近で親しみのある金融機関として清掃、地域行事、募金などさまざまな地域活動を行っています。また、一企業市民として、「小さな親切運動」の足利支部・小山支部の事務局として活動するなど、文化、環境保護、福祉等、多彩な活動を展開しています。

●地域活動の取り組み

文化活動

- 各営業店における作品展（ロビー展）
- 「しんきん寄席」
- 渡良瀬クリーン運動
- 織姫神社の清掃奉仕
- 店舗周辺の道路、歩道清掃奉仕



福祉活動

- 献血への協力（信用金庫の日：6月15日）
- 「小さな親切運動」への参加、足利・小山支部の事務局としての活動



地域行事への参加

- 足利と小山の花火大会への協賛
- 地域の商工会議所・自治会・商店街主催イベントへの参加
- 地域の祭り等の行事への参加

スポーツ振興への支援

- 市民球団『オール足利』への支援
- 足利市長杯選抜ソフトボール大会への協賛
- 足利オープン卓球大会への協賛



寄付

- 当金庫職員による岩手・宮城内陸地震災害救援募金の寄付（職員1人1000円募金）
- SHINKIN愛の募金運動で社会福祉施設へ寄付
- 各地域行事へ寄付
- 「緑の基金」栃木県緑化推進委員会へ寄付

その他

- 当金庫24店舗での駐車場の開放（休日）
- 防犯パトロールの実施、防犯用に駐車場に街灯設置
- 身近な犯罪抑止モデル事業所に認定
- 年金相談会の開催



コーポレート ガバナンス

足利小山信用金庫は、協同組織金融機関という会社形態をとり、総代会、理事会および監事会から構成される仕組みにより、コーポレート ガバナンス（企業統治）が発揮されるよう努めています。またコーポレート ガバナンスを強化するために、経営情報を積極的に開示し、ステークホルダーの皆さまから経営全般についてのご意見をいただくことなど、経営の透明性を確保することに努めています。

総代会

総代会は会員・お客さまの声を事業運営に反映させるための最高意思決定機関です。総代の定数は160名です。（総代会の詳細は12・13ページをご参照ください）

経営管理

理事会において金庫の業務執行に関する重要事項を決定するとともに、理事の職務執行を監督しています。また、理事3名で構成される経営会議を定期的で開催し、経営管理および業務運営に関する重要事項を協議しています。

監事会では、監事監査に関する重要事項等について協議しています。（経営体制の詳細は45ページをご参照ください）

情報管理

社会・お客さまに対して当金庫の情報を積極的に開示することで経営の透明性を高め、当金庫について正確に理解・判断いただくこともコーポレート ガバナンスに重要な要件です。

個人情報保護についてもその機密性・正確性の確保に努め、また相談窓口を設けています。

内部統制

内部統制とは、企業が業務を効果的に遂行するために、あるいは、会計の誤りや不正、コンプライアンス違反などが生じないようにするために、企業内部で自ら統制する仕組みをいいます。

当金庫は、内部管理体制について経営陣が持続的に検証を行っていくための具体的対応策を定めています。

平成21年2月、市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げている反社会的勢力との関係を遮断するため、「反社会的勢力に対する基本方針」を策定し職員へ周知徹底するとともにホームページ等にて公表しています。

人権

当金庫は、人権問題に対して正しい理解と認識を持つ職員の育成に努めています。また、採用担当者が採用選考人権推進委員として研修会などに参加し、人権・同和などの差別禁止に取り組んでいます。

産学連携

足利小山信用金庫と足利工業大学は、お客さまの技術ニーズと大学の研究成果をマッチングする産学連携に関する協定を平成20年8月12日に締結しました。地域社会に根ざした活動を展開している両者の機能をお客さまに提供し、事業の発展と地域社会の活性化に資することを目的としています。

篠田理事長（左）牛山学長（右）



金融経済教育

金融経済教育には、「社会人向けのもの」と「学校教育」の二つの分野があります。

平成20年度は、社会人向けの「資産運用セミナー」を2回開催しました。

学校教育としては、平成20年5月13日に中学生3名を職場体験学習生として受入れ、6月11日には小学生に「お金」に対する関心を深めてもらうために、足利市立梁田小学校で行われた夏祭り集会で「足利小山信用金庫梁田小出張所」を模擬出店しました。10月9日には、高校1年生を対象とする進路講演会に当金庫から銀行・金融分野の講師として職員を派遣して、講演を行いました。



会員・お客さま

経営支援・相談活動

足利小山信用金庫は、金融機能である融資活動以外に地域社会の活性化に向けたさまざまな活動を展開しています。

●創業・新事業支援融資

初めて起業される方々や新事業展開を計画する事業者への支援を行っています。日本政策金融公庫および(株)商工組合中央金庫と業務提携し、新事業展開や新分野進出を検討される中小企業の皆さまへの支援体制を敷いています。

平成20年度の創業・新事業支援融資の実績は、20件1億16百万円となりました。

●個人保証や不動産担保に過度に依存しない融資

栃木県内信用金庫の統一商品として栃木県信用保証協会との提携保証による「しんきんスクラム2000」を平成20年5月に提供し、個人保証や不動産担保に過度に依存しない融資に取り組んでいます。

平成20年度の「しんきんスクラム2000」実績は26件4億25百万円となりました。

個人保証や不動産担保に過度に依存しない融資の実績

(単位：件、百万円)

	20年度実績		20年度末残高	
	件数	金額	件数	金額
動産・債権譲渡担保融資	13	72	8	41
うち売掛債権担保融資	13	72	5	35
うち動産担保融資	—	—	3	6
スコアリングモデルを活用した融資	98	1,158	875	4,054
計	111	1,230	883	4,096

(注) 1.上記計数は、すべて中小企業向け融資です。 2.知的財産担保融資およびコベナンツを活用した融資はありません。

●緊急融資制度への取り組み

平成20年11月から金融不安や景気後退の影響を受けやすい中小・小規模企業に対して緊急融資制度に積極的に取り組み、平成20年度の取扱実績は78件、融資額は12億31百万円となりました。

●しんきん経営塾の開催

若手経営者や後継者を対象に、厳しい経営環境に打ち克っていくうえで必要とされる総合的なマネジメント力を醸成するために平成19年7月に開講した「しんきん経営塾」(会員数97名)は、経営の基本に着眼し、体系的な経営スキルの体得と時代を生き抜く先見性を磨くことを目的とする勉強会等を、平成20年度は足利地区2回、小山地区2回、足利小山合同1回の計5回開催しました。勉強会は、テーマ別に専門家や企業経営者を招き、教科書にはない生きた経営の習得に努めています。



相談機能の充実

資産運用を中心とした相談に応じる「コンサルティングプラザ小山」を、平成20年5月20日に開設しました。当プラザでは中小企業診断士やファイナンシャルプランナーの資格を持つ職員が、外部専門家

(税理士)との提携により資産運用のほか、相続、事業承継、不動産の有効活用など、総合的な金融相談に対応しています。

平成20年度は127名のお客さまのご相談を承りました。

経営改善支援への取り組み

経営改善支援の実績

(単位:件、%)

		期初債務者数 A					経営改善支援 取り組み率 α / A	ランクアップ率 β / α	再生計画 策定率 δ / α	
		うち経営改善支援取り組み先数 α								
		α のうち期末に 債務者区分が 上昇した先数 β	α のうち期末に 債務者区分が変化 しなかった先数 γ	α のうち 再生計画を 策定した先数 δ						
正常先	①	3,474	5		1	4	0.1%		80.0%	
要注意先	うちその他要注意先	②	368	42	4	36	39	11.4%	9.5%	92.9%
	うち要管理先	③	13	6	3	3	6	46.2%	50.0%	100.0%
破綻懸念先	④	140	21	8	13	17	15.0%	38.1%	81.0%	
実質破綻先	⑤	148	0	0	0	0	0.0%	—	—	
破綻先	⑥	39	0	0	0	0	0.0%	—	—	
	小計(②~⑥)の合計	708	69	15	52	62	9.7%	21.7%	89.9%	
合計		4,182	74	15	53	66	1.8%	20.3%	89.2%	

足利小山信用金庫は、更なる地域経済の活性化のために、当金庫がメイン取引金融機関で経営改善意欲のあるお取引先に対して経営改善支援のサポートを行っています。

その一貫として、栃木県経営支援課の特別相談窓口を活用した企業の経営診断や経営改善計画書の作成支援、特許申請支援、ホームページ開設支援などを行っています。また平成20年度は、お取引先(74先)を対象に、財務分析や改善計画分析などを実施しました。

利用者満足度アンケート調査

足利小山信用金庫は、地域のお客さまのニーズと経営環境の変化に即応し、より質の高い商品やサービスを提供するために、平成17年より毎年1回、アンケート調査を実施しています。

平成20年10月に第4回目の調査を実施し、当金庫の事業エリアに居住されているお客さまのうち、20歳代から60歳代まで合計1,122名から貴重なご意見をいただきました。

当金庫は、お客さまの声に基づいた改善対応策を策定し、お客さまのご期待に沿えるように積極的に取り組んでいます。

なお、平成19年11月に実施しました第3回目の調査における主なご意見とその対応状況は下記のとおりです。

●駐車場が狭く、建物が古い営業店がある。

→お客さまの利便性を考慮して、平成20年度は次のとおり対応しました。

①平成20年12月 蕪川支店の外壁を改修しました。

②平成21年3月 小山営業部の営業室内を改修するとともに、ATMを1台増設しました。

●日曜・祝日に利用できないATMがある。

→平成21年7月より全営業店のATMを1年365日休まず稼働します。

(足利市役所共同出張所および足利商工会議所共同出張所は平日のみ)

環境

環境保全活動への取り組み

自然環境の維持および改善に努めることは、企業市民としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力することは資源を消費する企業としての責務です。

足利小山信用金庫は、協同組織による地域金融機関としての社会的責任と公共的使命を自覚し、平成20年6月に制定した「環境方針」に則り、役職員が一丸となって環境保全活動に取り組んでいます。

平成20年度の主な取組結果は下記のとおりです。

● クールビズ、ウォームビズの実施

- ・室温管理の徹底 (冷房28℃、暖房20℃)
- ・夏(7~9月)は上着なし、ノーネクタイ

● 電力使用量の削減 平成18年度比△2.1%

- ・不在不要の場所の消灯徹底
- ・空調機器フィルターの定期的な清掃

● ガソリン使用量の削減 平成18年度比△5.6%

- ・アイドリングストップや経済速度運転の実施

● コピー用紙使用量の削減 平成18年度比△6.4%

- ・庫内LANを活用した会議の実施(ペーパーレス化)
- ・両面・縮小コピーの実施

● 環境への負荷を配慮した粗品の配布

- ・6月13日(信用金庫の日6月15日の催しとして)にエコバック2,400個配布
- ・サマーキャンペーンの定期預金ご契約時の粗品として、重曹クリーナー Sprey を配布

● 定期預金等規定集

- ・紙を再生紙へ、インクを大豆(Soy)インクへ変更

● 「小山市エコリサイクル推進事業所」に認定

足利小山信用金庫は、小山市が制定している「小山市エコ・リサイクル推進事業所認定制度」において、「2つ星ランク」に認定されました。

小山市の同制度は、3R (Reduce:廃棄物の発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化) および省エネルギーの推進を始めとする環境保全活動に積極的に取り組む事業所をエコ・リサイクル推進事業所として認定するものであり、現在、当金庫は「3つ星ランク」の認定に向けて積極的な環境保全活動を行っています。

当金庫は、引き続き地域・行政とのタイアップを図るとともに、環境保全に役立つ金融商品や金融サービスの提供を通して、環境保全に取り組むお客さまを支援し、地域社会の環境改善に貢献していきます。



●「エコユニット」に登録

足利小山信用金庫は、東京商工会議所が推進している「エコユニット」に、県内金融機関として初めて平成21年3月3日にユニット企業として登録しました。

「エコユニット」とは、環境社会検定試験 (eco検定) の合格者が中心となり、企業全体で環境保全活動を推進するものであり、当金庫は現在14名がエコピープルに認定され、環境に関するさまざまな活動を行っています。



環境関連商品の発売

足利小山信用金庫は、環境保全に役立つ金融商品として、「カーライフプラン」「住宅ローン」「エコ定期」を発売しました。

●カーライフプラン (平成20年10月1日～平成21年3月31日)

ハイブリッドカーを購入する場合、貸出金利を店頭表示金利から0.35%引下げ

●住宅ローン

太陽光発電やオール電化などを備えたエコ住宅を購入する場合、貸出金利を店頭表示金利から0.1%引下げ

●エコ定期 (平成21年6月1日～7月31日)

ペットボトルキャップ10個以上を持参しエコ宣言書に署名いただいた場合、定期預金の金利を店頭表示金利に0.15%を上乗せ (個人のお客さま限定、募集総額20億円)

当金庫職員

働きやすい職場環境づくり

足利小山信用金庫は、経営理念にある「チャレンジ精神に溢れ、自由闊達な企業文化を創造し、働きがいのある地域金融機関となります」という基本姿勢に則り、職員がいきいきと能力を発揮できる働きやすい職場づくりを目指しています。また、この職員満足度 (ES) の向上は仕事に反映され、お客さま満足度の向上にもつながり、さらに地域への貢献につながります。

育児休暇を取得しやすい職場環境をつくるため、職員の育児休業および育児のための短時間勤務制度、時間外労働の制限等に関する「育児休業規程」を定めており、平成20年度中に4名が育児休暇を取得しました。また、介護を必要とする家族のいる職員を支援するための「介護休業規程」も定めています。

また、定年退職年齢に達した職員を再雇用する「シニアスタッフ制度」を制定し、経験豊かな高齢者を再雇用することにより、金庫業務の更なる活性化を図るとともに、定年退職者の生活安定を支援しています。

